

# 平成20年度 事務事業評価表

	コード	H20-I-05
事務事業名	中学校部活動バス代補助金	主管課局
		教育委員会事務局
		担当名
		学校教育担当

## 1. 事務事業の概要

計画体系	(章)	4.ふるさとを育む人と文化のまちづくり			予 算 費 目	(会計)	一般会計
	(節)	4-1 生きる力を育む学校教育の充実				(款)	教育費
開始・終了年度	(開始)	平成15年度			(項)	中学校費	
	(終了)	-				(目)	学校管理費
事業の種類別		自治事務(任意)	自治事務(義務)	法定受託事務			
根拠法令等	中学校部活動バス代補助金交付要綱						
統合の検討可能な 関連・類似事業							
内容と目的	中学校部活動に際してバスを利用し、対外試合及び強化練習並びに合宿等を行う場合、目的地までの生徒の安全性を図るため、バスを利用する中学校部活動に対してバス代を補助する。ただし、児玉郡市内及び深谷市、寄居町内を除く。補助金の対象は、バス代のみ。						
現状と結果	現在、部活動(H19年度野球部3回、陸上部1回、ソフトテニス部4回、サッカー部2回、吹奏楽部2回)の試合等で活用している。						
課題と改善	現在、部活動(野球部、陸上部、ソフトテニス部、卓球部、サッカー部、吹奏楽部)の試合等で大いに利用しているが、バスの補助について部活動以外の学校行事に利用できないかと学校からの強い要望があり部活動に限定をしているバス代補助事業を学校行事全般を対象とした補助事業にすることを検討する必要がある。						
住民意見							
対 象 数	対象数(部活動数)	平成17年度	平成18年度	平成19年度			
	参加者数	13	13	13			
		6	6	5			

## 2. 経費(決算額)

		平成17年度	平成18年度	平成19年度	
事業費(千円)		854	1,000	876	
財源 内訳	受益者負担				
	国・県支出金				
	その他特定財源				
	一般財源	854	1,000	876	
備考					

### 3. 1次評価

評価項目と評価の視点			評価・評価コメント					
妥当性	(1) 事業の必要度	社会環境や住民ニーズなどかの変化により事業の必要性や役割は変わっていないか	変わっていない	一部変わった	変わった			
	(2) 対象設定の妥当度	事業実施の目的として対象者は妥当か特定の団体や個人に偏っていないか	妥当である	あまり妥当でない	妥当ではない			
	(3) 実施主体の代替度	事業を町以外(民間や国・県など)に任せることができるか	可能でない	一部可能である	可能である			
有効性	(1) 成果の達成度	事業の実施により初期の目的や目標をどの程度達成しているか	達成していない	一部達成している	達成している			
	(2) 事業の見直し度	成果の状況を踏まえ、事業内容を見直す余地はあるか	見直す余地はない	検討の余地がある	見直す余地がある			
効率性	(1) 行政コストの削減度	経費節減によりサービス水準を低下させずにコストを下げることができるか	できない	検討の余地がある	できる			
	(2) 効率性の向上度	事業の効率性を上げるため他の事業との統合や事務の省力化など見直しの余地があるか	見直す余地はない	検討の余地がある	見直す余地がある			
	(3) 受益と負担との相関度	行政サービスの内容と負担を比較して、受益者負担の適正化の余地があるか	適正化の余地はない	検討の余地がある	適正化の余地がある			
総合評価	1. 見直しの必要なし	見直しの必要あり	2. 改善	3. 充実	4. 縮小	5. 統合	6. 廃止	3
予算反映	1. 現状どおり	2. 増額	3. 減額	4. 廃止	1			
評価理由	部活動だけではなく他の事業でもバスを使う事業があるため、補助事業の名称及び内容を検討し、中学校事業でバスを必要とする行事に対応できるよう検討する必要がある。							

### 4. 行政評価検討プロジェクト意見聴取

1次評価に対する意見	補助金制度としては廃止すべきである。学校ごとに判断し、必要であれば学校の予算で実施すべきで
------------	---

### 5. 2次評価

総合評価	1. 見直しの必要なし	見直しの必要あり	2. 改善	3. 充実	4. 縮小	5. 統合	6. 廃止	5
予算反映	1. 現状どおり	2. 増額	3. 減額	4. 廃止	4			
評価理由	補助金ではなく、中学校費の中のバス借上げ料として一括予算計上すべきである。							

### 6. 外部意見聴取

評価全体に対する意見	補助金は廃止し、必要なバスの費用については、中学校費の中のバス借上げ料として一括予算計上すべきである。
------------	---